

## 造船統計速報（平成30年6月分）

本速報は、造船の生産等実績の早期把握に資するため、基幹統計調査「造船造機統計調査」の造船調査対象工場のうち主要工場の主要項目の生産等実績について先にとりまとめ速報化したものである。確報値は追って公表される「造船統計月報」を参照されたい。

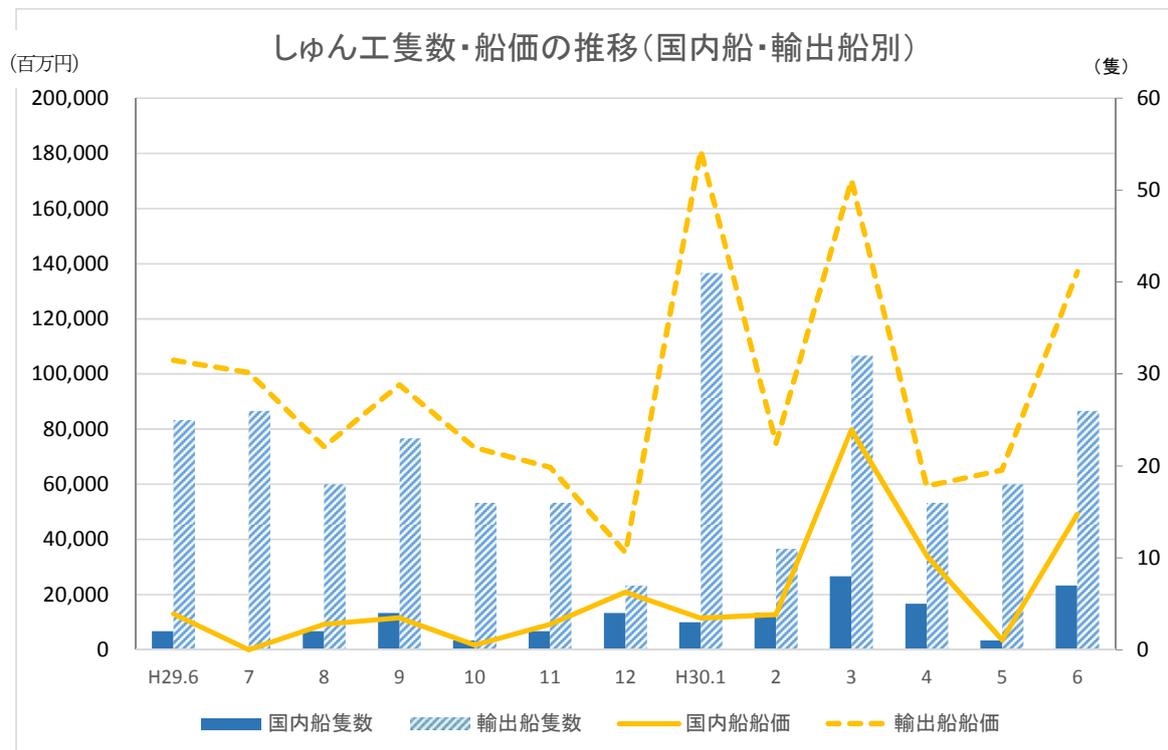
### 1. 概況

平成30年6月分の造船主要44工場の鋼船受注・建造実績は、受注7隻、22万4千G/T、起工22隻、119万8千G/T、しゅん工33隻、178万5千G/T、しゅん工船価1,863億円（前年同月比は29.8%増）であった。

このうち、国内船のしゅん工実績は、合計7隻、52万5千G/Tであった。内訳は、貨物船が6隻（コンテナ船2隻、鉱石兼ばら積み船2隻、RORO船2隻）、油送船が1隻（化学薬品船）であった。

また、輸出船のしゅん工実績は、合計26隻、126万G/Tであった。内訳は、貨物船が13隻（一般貨物船2隻、鉱石専用船1隻、ばら積み船5隻、コンテナ船2隻、鉱石兼ばら積み船3隻）、油送船が13隻（一般油送船2隻、化学薬品船9隻、LNG船2隻）であった。

鋼船修繕実績は、合計92隻、工事金額52億円であった。



注1 近年の造船業の統廃合等による情勢の変化を踏まえ、実態に即した的確な速報値の公表を確保する観点から、平成30年1月分の速報から集計対象事業所を見直した。なお、集計対象事業所は、過去3年分（平成26年～平成28年）のしゅん工船価の確報値を平均化し、確報値全体の約85%を占めるよう、上位から44工場を選定した。

注2 本速報における国内船及び輸出船は船舶の発注者の国籍により区分される。

注3 平成26年1月分調査より「受注」を調査事項として追加し、その結果を公表している。

## 2. 鋼船建造実績

(単位:隻, G/T, 千円)

用途別	受注		起工		しゅん工				
	隻数	G/T	隻数	G/T	隻数	G/T	船価	前年同月比	
合計	7	223,749	22	1,197,598	33	1,784,796	186,269,510	129.8	
国内船	小計	2	2,349	5	260,299	7	524,815	49,172,690	—
	貨物船	0	0	3	252,600	6	520,271	・	—
	貨客船	0	0	0	0	0	0	0	—
	客船	0	0	0	0	0	0	0	—
	自動車航送船	0	0	0	0	0	0	0	—
	油送船	2	2,349	1	1,599	1	4,544	・	—
	漁船	0	0	0	0	0	0	0	—
	その他	0	0	1	6,100	0	0	0	—
輸出船	小計	5	221,400	17	937,299	26	1,259,981	137,096,820	—
	貨物船	5	221,400	12	527,299	13	738,294	44,936,567	—
	油送船	0	0	5	410,000	13	521,687	92,160,253	—
	その他	0	0	0	0	0	0	0	—

## 3. 鋼船修繕実績

	隻数		工事金額(千円)	
合計	73	(19)	1,387,611	(3,848,516)
国内船	63	(19)	1,229,373	(3,848,516)
外国船	10	(0)	158,238	(0)

※ ( )内は、排水トン表示による船舶で、外数である。

お問い合わせ先：  
 国土交通省総合政策局情報政策課交通経済統計調査室  
 電話：03-5253-8111      FAX：03-5253-1567  
 03-5253-8348 (直通)  
 担当：小林(内線：28-742) 高野(内線：28-743)